

令和4年2月7日

保護者の皆様へ

北海道檜山北高等学校長 佐 藤 健

オミクロン株の影響を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症 対策について

厳寒の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

道内においても、潜伏期間が短く、感染力が高いとされるオミクロン株による感染者が急増し、道内の新規感染者数が3,000人を超える日が継続するなど危機的状況となっており、学校においても学級閉鎖等の臨時休業の措置を講じている学校数が相当数に上っています。こうした状況がみられる中、学校における感染拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続し、子ども一人一人の学びを保障していくことが重要です。

北海道においては、レベル分類表について、引き続き、全道域で「レベル2」が維持されますが、オミクロン株による感染拡大の状況を踏まえ警戒を強めているところです。本校におきましても地域の感染状況等を的確に把握しながら、感染症対策の実効性の確保を図るとともに、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」に基づき感染症対策を徹底し、集団で行う活動など感染症対策を講じてもおお感染リスクの高い教育活動は実施しません。特に下記に留意し、適切な対応をしていきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

記

- 1 部活動（当面の間短時間での練習）「衛生管理マニュアル52～54ページ」
 - (1)健康観察を徹底するとともに、発熱の有無にかかわらず風邪症状等がある場合は、部活動を休み、自宅等で休養すること。
 - (2)部活動前後には、常時マスクを正しく着用し、手指消毒又は手洗いを徹底すること。
 - (3)部活動前後の会食等は控え、活動終了後速やかに帰宅するよう指導すること。
 - (4)部活動中においては、活動に支障がない限りマスクを着用すること。
 - (5)更衣室はできる限り換気に努め、マスクを着用し、会話を控えること。
 - (6)水分補給用のボトルやタオルなどを共有しないこと。
 - 2 リスクの高い教育活動「衛生管理マニュアル50～52ページ」
「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
 - ・理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
 - ・音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
 - ・図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - ・家庭・技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
 - ・体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」上記の活動は、「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い」ことから、行わないようにします。
 - 3 風邪症状等がみられる場合（同居家族含む）は、症状がなくなるまで登校しないようご協力をお願いします。
感染が不安・心配など休ませたい場合もご連絡下さいますようご協力をお願いいたします。
 - 4 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」につきましては本校ホームページにもリンクを掲載しています。
- お問い合わせ 教頭 84-5331